令和8年度

県単河川改良（緊自債）
森吉ダム管理方針検討業務委託
08-K192-Y2

特記仕様書

令和８年11月
森吉ダム管理事務所

1. 目的

森吉ダムは、秋田県と発電事業者との共同事業で建設され、昭和 28 年に完成した洪水調節と発電を目的とする重力式コンクリートダムである。建設から長期間が経過し、ダムの維持管理に要するコストの縮減を図る必要性が高まっている。

本業務は、これらの背景および過去に実施した検討業務の成果を踏まえ、今後、長寿命化計画に即した維持管理を実施した場合（過去のランニングコスト実績等を比較）と、ダム管理の効率化・合理化の観点から施設改良（放流方式の変更やゲート改造等、ゲートレス化を主とする施設改良事業）を実施した場合とを比較し、施設改良の必要性について検討を行うものである。

2. 検討項目

森吉ダムの最適な管理方法を検討し、今後の管理方針を定めるために下記の検討を行う。

1. 計画準備
2. 既存資料の収集・整理
3. 現地調査
4. 基本条件の検討・整理
5. ダム管理の現状と課題
6. ダム管理に係る今後の対応
7. 報告書作成
8. 打合せ協議

3. 検討内容

3.1 計画準備

本業務の目的・趣旨を把握したうえで、実施内容を確認し、業務実施計画を立案し，業務計画書を提出する。

3.2 既存資料の収集・整理

今後の管理方針を検討する際の基本データとして、下記の資料を収集・整理する。

・森吉ダムの調査・計画・設計・施工関係の資料（全体計画、水利権許可申請書、工事誌等）
・森吉ダムの運用実績（流入量・放流量・貯水位、洪水調節、発電、堆砂、水質）に関する資料
・過年度の維持管理関連図書類（ダム総合点検、長寿命化計画等）
・過年度のダム管理運用検討業務委託報告書

3.3 現地調査

森吉ダム堤体、機械設備、管理設備、森吉山ダム等下流河道の整備状況に関する現地調査を行い、現地状況やダム関連設備の設置状況を把握する。

3.4 基本条件の検討・整理

収集した資料および現地踏査で得られた資料に基づき、以下の基本条件の整理・分析を行う。

(1)森吉ダムの治水、利水計画の整理・分析

洪水調節計画、利水計画等を整理し、森吉山ダムとの関連や、阿仁川流域における治水、利水計画上の位置付けを整理・収集する。

(2)管理記録の整理・分析

最新の技術基準に基づきダム設計洪水流量を検討するため、運用開始後の流入量・放流量、降雨量、洪水

の成因、迎洪水位、渇水記録等既往の水文資料を整理・分析する。また、過去の検討業務の成果について、現行基準等に適合しているか精査を行う。

(3)放流設備の現状把握

(2)の比較・設計洪水流量の検討結果を踏まえ、施設改良(現行の放流方式やゲート改造等)を実施した場合の最適案について、洪水吐きの配置検討・比較を行う。

(4)管理設備の現状把握

管理設備の現状把握 過年度の業務成果を踏まえて長寿命化計画に基づく維持管理・メンテナンスを実施した場合と、施設改良等を含めたゲートレス化に向けた業務を実施する場合とを比較整理し、森吉ダムの最新の技術基準への適合性評価(長寿命化計画に基づくメンテ、施設改良を視野に入れたゲートレス化等を含めた適正評価)を行う。

3.5 ダム管理の現状と課題

3.4 の基本条件の検討・整理を踏まえ、「施設改良(放流方式の変更やゲート改造、またはゲートレス化)を実施した場合」と「長寿命化計画に基づく維持管理を実施した場合」とを比較し、以下の観点から現状と課題を整理する。

・職員の管理体制の整理
・維持管理費の整理
・現行の操作規則・細則等、流下能力等における整理(メリットとデメリット)

3.6 ダム管理に係る今後の対応

3.4、3.5 を踏まえた総合検討を行い、今後の新たな管理方針に向けて今後検討すべき事項(技術的な課題や施工等における課題等)の整理を行う。

3.7 報告書作成

業務の検討結果をとりまとめた報告書を作成する。

3.8 打合せ協議

打合せ協議は，初回 1 回，中間3回，成果品納入時 1 回の計5回とする。

4. 成果品

本業務の成果品として，次のものを提出することとする。

・報告書(A 4 版ファイル製本) 1 部
・電子成果品(CD-R または DVD-R) 2 部

令和8年度

県単河川改良（緊自債）
森吉ダム管理方針検討業務委託
08-K192-Y2

現場説明書

〔条件明示〕

令和 8 年 11 月

森吉ダム管理事務所

業務の実施にあたっては、秋田県設計業務等共通仕様書（令和８年10月１日以降適用）及びその他指定された図書を参考とし、かつ以下の事項について施行条件とします。なお、明示されない条件、明示事項が不明確な条件についても、契約事項の関連する条項に基づき、受発注者間において協議できるものとします。

第1編　共通編

第1章　総則

第1節　参考図書

設計図書の外に提示する「参考図書」については、入札参加者の迅速な見積りに対しての資料として提示するもので、委託契約上拘束するものではないので留意してください。

第2章　基準等

第1節　積算基準等

業務委託料の積算は、以下の基準に基づき実施しています。

・設計業務等標準積算基準書及び設計業務等標準積算基準書（参考資料）
　令和８年10月以降適用　秋田県

第2編　現場説明事項

第1章　条件明示

第1節　積算条件等

・旅費交通費については、「旅費交通費の率を用いた積算（宿泊、滞在を伴わない業務の場合）の土木設計業務」により積算しています。
・電子成果品作成費については、「概略設計，予備設計又は詳細設計」により積算しています。
・別途調査が追加で必要となった場合は、調査職員と協議の上、変更により対応します。

第2節　情報共有システム（ASP）の利用について

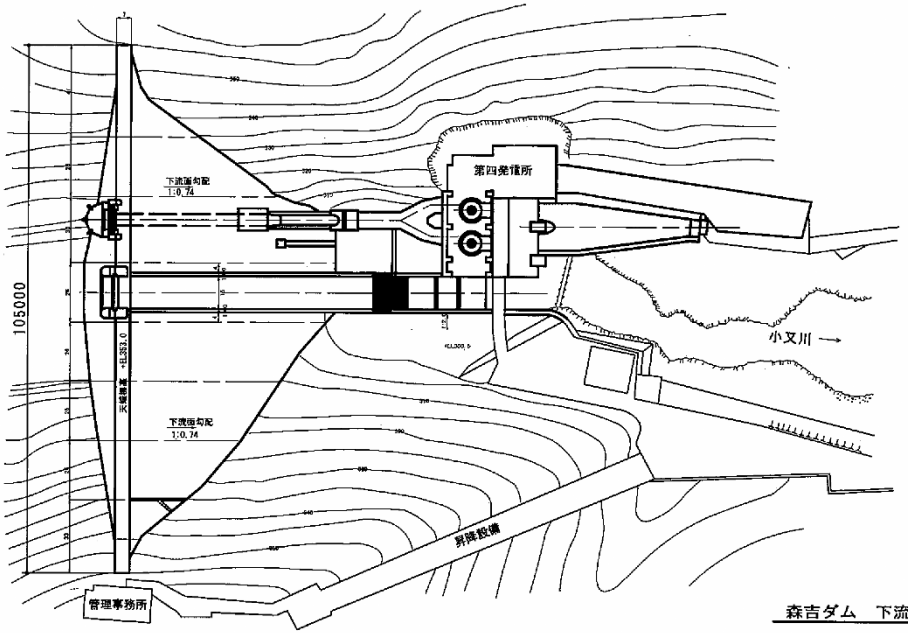
受注者は、本業務委託において情報共有システム（ASP）を原則利用すること。ただし、利用が適さないと判断した場合は、協議の上、利用しないことができるものとします。

なお、利用については、「秋田県設計業務等共通仕様書（令和８年10月以降適用）」及び「土木工事等における情報共有システム運用ガイドライン（案）」による。また、情報共有システムに係る費用（登録料及び使用料）は、間接原価の率計上分とし、諸経費に含まれています。

第３節　その他

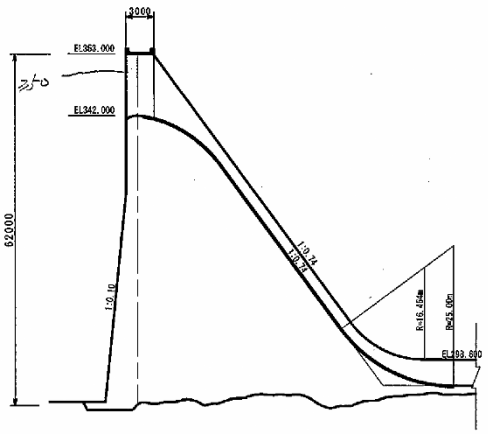
・照査が必要な場合は，別途協議します。
・履行期限については、別途協議します。

森吉ダム　平面図

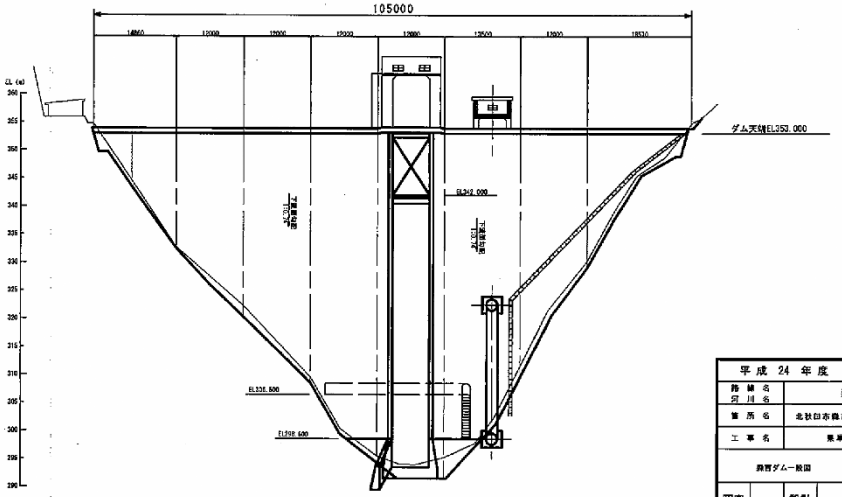


森吉ダム　標準断面図

(1:200)



森吉ダム　下流面図



平成 24 年度		工事番号	K192
路線名 河川名	森吉ダム		
管理名	北秋田市森吉字胡手沢下岱 地内		
工事名	葉草河川改良工事		
森吉ダム一般図		縮尺	図示
照査	設計	図面番号	1
秋田県			

（森吉ダム概要）

米代川水系小又川の北秋田市森吉字平田地先において、昭和26年より河川統水事業にて調査を実施し、昭和27年に重力式コンクリートダムとして建設着工、昭和28年度に総事業費約11億円で完成した。ダム湖の名前は「太平湖（たいへいこ）」である。

（森吉ダムの諸元）

項目	詳細
目的	F：洪水調節　P：発電
ダム形式	重力式コンクリートダム
集水面積	139.0 ㎢
湛水面積	1.56 ㎢
ダム高	62.0 m
総貯水容量	37,200,000 ㎥